

令和5年度 第2学期終業式 (12/22)

皆さん、おはようございます。(寒いので、今日は手短かに行きたいと思います。)

いよいよ冬休みです。25日はクリスマス、新年になったら初詣と、冬休みは神様関係のイベントがたくさんあります。

初詣に行くか行かないかは皆さんの信教の自由というものですが、きっと行く人も多いと思うので、今日は正しい初詣の仕方を皆さんに教えてあげたいと思います。

初詣というか神社の参拝の作法というと、「まず、参拝の前に口を漱ぎ、手を清め、神前では二礼、二拍手、一礼で祈願する」というのが、一般的ではないかと思います。

しかし、これらは私が若いころはあまり一般的ではありませんでした。また、本来は神社やそこに鎮座しておられる神様によって、神前での作法は様々だったはずなのですが、30年位前から神社にポスターや看板が張り出されるようになって、これが標準的な作法だということになりました。まあそういうわけで、細かな形や動作には、あまりこだわる必要はありません。ちょっとくらい間違ってもたぶん神様は怒らないとおもいます。

それでは何が大事なのか、というと「神様には、お願い、何かをねだること、をしてはいけない」ということです。「お願いがだめなら、何をするのか」、というと神様の前では「誓い」を立てます。

具体的に言うと、3年生でこれから大学入試だという人は、神様の前で「〇〇大学に合格させてください」と、合格をねだってはいけません。その代わりに「自分は〇〇大学に合格します」と誓いを立ててください。神様にお願いして良いのは「合格するから、見ててください」ということだけです。

そして誓いを立てたからには、それを実現するために頑張ることです。

神社に参拝する人は、何千人、何万人といます。その人たちみんなからお願いされても、神様も手が回りません。特に、自分で頑張る気がない人の面倒までは見られないでしょう。でも自分で頑張る人のことはきっと見守ってくれると思います。

これは、私の思い付きではなく古くからの日本の神様の在り方です。日本の神様は本来、人を救済しません。お願いして縋り付く相手ではなく、誓いを立ててそれを見守ってもらう者、誓願をする相手なのです。

みなさんもし初詣に行ったら、ぜひなにか今年の誓いを立ててきましょう。そして次の年には、神様に誓いを達成しましたと報告ができるように頑張ってください。